

1.個別学習室目標

やさしさいっぱい チャレンジいっぱい からだ元気いっぱい

○チャレンジする子、あきらめない子

・いろいろなことにチャレンジし、最後まで自分なりにがんばれるように。

○自分のことは自分でやる子

・将来に向け、自立した生活が送れるように。自分のできることは自分でできるように。

○なかよくあそぶ子、たすけ合う子

・相手のことを考えながら、心と心、ことばとことば、力と力を合わせて活動できるように。

○みんなにあいさつができる子

・学校・地域の中だけでなく、公共の場でもすすんで挨拶ができるように。

2.教育方針

- 情緒の安定を第一に考え、子ども一人一人の適性に合わせて生活と学習と指導をしていきます。
- 個別学習室担任全員で全員の子どもたちを見ていきます。
- 異学年の小集団活動を通して、安心して人と関わる気持ちを育てていきます。
- 社会的自立を目指し、様々な体験学習を通して経験を豊かにしていきます。
- 通常級を中心とした交流学习により、児童相互のかかわりと理解に向けて支援していきます。

3.指導体制

- ・個別教育計画を作成し、一人一人に応じた指導をしていきます。
- ・3つの学習形態（個別学習、合同活動、交流学习）を児童に合わせて組み合わせ、取り組んでいきます。担任5人が全員の児童と関わり、協力して指導していきます。協力指導をしていきますので、担任以外が個別学習や交流学习の指導をすることもあります。
- ・児童の実態や課題について、全担任が共通認識をもち指導していきます。
- ・交流学习や学年・学級行事には児童の実態に応じて、支援と見守りの距離を考えながら行っていきます。
- ・情緒の安定を学校生活の基盤に、コミュニケーションの力と社会的自立をめあてに指導していきます。

4.教室配置

A棟

廊下			個別学習室 1 (朝の会など)	休憩 スペース
3-2	3-1	個別学習室 2		

☆ 個別学習室 3 (A棟2階)・・・図工などの合同学習

5. 学習について

3つの形態による教育を組み合わせ、時間割をつくります。

◆**個別学習** 1～7人の学習。国語・算数・自立活動を中心に、個に応じて知識・技能を高めていく学習をします。交流学习での続きや補充を行うこともあります。

◆**合同学習** 個別学習室全体 又は 活動に合わせてグループに分かれて活動していきます。朝の会(日常生活) ・音楽・図工・体育 行事(生活单元)など コミュニケーション、ルール・マナー等、集団参加にむけて、学校生活の楽しさや意欲につながるように学習していきます。

◆**交流学习** 交流級での学習。学年・学校行事への参加。クラブ・委員会への参加。学年・学校行事は、優先して参加します。ただし、健康診断は、個別学習室で行います。交流学习を優先する場合は、一人交流を基本とさせていただきます。

個別学習室 基本時間割

☆印の所は、個別学習又は交流学习になります。

	1校時	2校時	3・4校時	5校時	6校時
月	合同	☆	☆	☆	☆
火	☆	合同	☆	☆	☆
水	朝の会	☆	☆	委員会・クラブ	
木	☆	合同	☆	☆	☆
金	朝の会	☆	☆	☆	☆

※時間割を変更して行うことがあります。

※水泳学習(水遊び)・健康診断は、個別学習室のみ行います。交流はしません。

6. 生活について

- 登下校 8:05 から 8:25 に登校。時間内の登校にご協力ください。
 - ・一人で待つことが心配な場合、担任が来るまで保護者の付き添いをお願いします。
 - ・下校方法を保護者と児童で確認し、担任に連絡ファイルでお知らせください。
 - ・放課後デイサービスを利用する場合、わくわくプラザをお迎え場所にしてください。
 - ・登下校の課題を設定して取り組む場合は、安全に配慮し、新担任と共通理解がとれてから少しずつ行います。保護者の見守り等ご協力ください。
- 朝の会 8:30～ 交流級の朝の会に参加 又は個別指導
9:00～ 個別学習室の朝の会
- 給食 基本的に交流級で給食を食べます。給食当番も様子を見ながら、できるだけ行います。
 - ・担任以外が支援を行う場合もあります。
 - ・個別学習室で給食指導を行う場合があります。
- 掃除 基本的に交流級で行います。指導が必要な場合は、個別学習室で行う場合もあります。

7. 「個別教育計画（サポートノート）」と「のびゆくすがた」について

サポートノートは、教育的ニーズを明らかにし、保護者と連携して一貫した指導・支援ができるようにするために大切なものです。作成にあたりご協力をお願いします。

◆「プロフィール票」「週計画表」

児童理解、アセスメント、個別計画作成の資料になるものです。

◆個別指導計画

学習面、生活面でのニーズや課題を明らかにし、目標や支援の内容を設定します。

◆評価

個別指導計画に基づいて、どこまでできたのかを簡潔に表記します。

交流級で学習した教科は、交流級の担任に聞き取りを行い、個別学習室の担任が記載します。

<サポートノート・個別指導計画作成の流れ>

- 4月 個人面談
 - ・「プロフィール票」「週計画表」の確認。(手帳更新・投薬・通院等)
 - ・お子さんの様子についての聞き取り。
 - ・これからの取り組み(時間割・交流教科・個別指導計画)について
- 6月 個人面談 「前期個別指導計画」の修正・確定。
- 10月 ○書面 「前期個別指導計画の評価」
- 11~12月 個人面談(希望制)「後期個別計画」の修正・確定。
- 3月 ○書面 「後期個別指導計画の評価」

※コピーを学校で保管。原本は家庭で保管(緑のサポートノートファイル)。

中学進学時などの引継ぎ資料として、活用されます。

(1年生と新入級の方には、ファイルを後日お配りします。)

◆のびゆくすがた

- ・個別学習室の担任が、学校生活全体について、成長の様子や頑張ったことを中心に後期の所見欄でお知らせします。
- ・各教科の評価・評定の欄は、個別指導計画に基づいた評価を行うため、基本的に斜線となります。
一人交流でテストまで受けた教科については、保護者の希望があれば、交流級担任が評価します。
- ・前期終業式・後期修了式の日配付します。

8.教材費について

- ・2~3ヶ月分まとめた引き落としになります。(年間4回。)
- ・学年に準じた額を引き落とします。残高不足にならないよう入金をお願いします。
- ・購入するものが個々に違いますので、年度末に残金は返金します。購入品の内容は会計報告でお知らせします。
- ・引き落としができなかった場合は、**保護者の方が学校に直接**現金をお持ちください。
担当教員の会計処理の負担も大きくなりますので、現金徴収にならないようご協力をおねがいます。

9.就学奨励費について

特別支援就学奨励費は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯収入額に応じて、必要な就学経費の一部を支給する国の制度です。

- ・後日配付される用紙に必要事項を記入の上ご提出ください。
- ・学用品を購入した際には、領収書（レシート）を保管しておいてください。

10.その他

- 連絡ファイル(水色)→今週分の用紙が一番上になるようにしていただけると助かります。
 - ・個別学習室担任が、学校の様子や連絡などをお知らせします。指導を優先しますので、特にお知らせがない場合はサインのみになりますのでご了承ください。
 - ・持ち物の欄は、特別な持ち物のみお知らせしますので、書いていない時には、時間割通りの持ち物を持たせてください。
 - ・下校の欄は、保護者の方が毎日ご記入ください。
 - ・家庭から持たせた書類や特別な持ち物がある場合にもお知らせください。
 - ・ご家庭の様子、健康状態で気になることや体育の見学等、担任に知らせたいこともご記入ください。
- 個別学習室だより「みんななかよく」を月末に発行します。各学年の学年だよりには、交流教科の持ち物などが書かれていますので、両方に目を通してご確認ください。
- 手紙の配付漏れを防ぐため、交流級と個別学習室の両方で配付しています。同じ手紙が2枚配られる場合があると思いますが、ご了承ください。
- 持ち物学習道具は、すべてに記名をお願いします。新学年・クラスに書き換えも忘れずをお願いします。傘などは見やすい場所に記名していただくと助かります。
- 時間割になくても、月曜日にはいつも体操着を持たせてください。赤白帽子のゴムが伸びたり、きつくなっていたりしないかを点検してください。

担任紹介

一年間ご協力よろしく申し上げます。

今年度も子どもたちの成長を楽しみにがんばります。よろしくお願いいたします。

今年も、子どもたちの「できるようになりたい」を精一杯支えていきます。

子どもたちが安心して学校生活を送れるように支援していきたいと思えます。

今年度もみんなと楽しくやっていきたいです。よろしくお願いいたします。

元気いっぱい、笑顔いっぱい楽しい毎日になるよう支援していきます。

坂戸小学校から来ました。子どもたちの笑顔に支えられながら「やる気」を支えていきます。

子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう支援していきます。

☆他教諭・教育サポーターとも連携して指導していきます。